

平成 28 年度 細江あすなろ作業所事業報告書

1. 利用者状況

平成 29 年 3 月 31 日の利用状況は以下の通りである。

①年齢別

年 齢	男性	女性
70代	0	1
60代	2	1
50代	2	1
40代	2	2
30代	0	1
20代	4	2
10代	1	1
計	11	9
平均年齢	40.3歳	

②障害支援区分別

障害支援区分	人 数
1	0
2	0
3	3
4	6
5	10
6	1
計	20

③居住場所別

居住場所	人 数
自 宅	12
グループホーム	6
障害者支援施設	2
計	20

2. 活動状況

①作業

利用者の高齢化と重度化の中で、年々部品の組み付け等の下請け的作業の活動が困難になってきた。作業工程で職員が関わる部分が増えていて、こなせる量が減ってきたため、前年度に続き更に1社の受託を11月で終了した。ただ、それに代わるものとして、手先を刺激するためのトタン用のフック金具と割り箸の袋入れの作業を用意した。また、特に女性利用者向きに、ビーズを使用しての作品づくりや布を裂いて織る咲織りも導入してきた。

自主製品については、

具体的な作業種目は以下の通り。

- 下請作業
 - エイテック（有）・・・自動車部品の組み付け
 - ティージャー（株）・・・オートバイ部品の組み付け
 - 野澤よしお政務調査事務所・・・機関紙の封筒入れ

- ラフレ・・・切花の梱包用シートのシール貼り
- 自主製品
 - せっけん作り
 - ぼかし
 - 咲織り
 - ビーズ通し
- その他
 - アルミ缶の回収

【自主製品の販売】

- 販売方法
 - 作業所での直接販売
 - イベント等を通しての販売
 - 農協祭、わ西部地区会、浜松南ライオンズクラブ、遠州教会
- 委託販売
 - 細江町社協・三ヶ日町社協・奥浜名湖商工会・咲夢茶店・まるたま
とんきい・渡辺精肉店・竜ヶ岩洞

②創作活動・行事

午後は音楽を利用した表現活動に力をいれ、3人の講師による音楽療法やダンスを中心とした表現活動を行った。特に3月には、新たにミュージックセラピーを加え、ダンスを中心とした表現活動をおこなった。ミュージックセラピーに関しては今後月1回プロを交えての活動も行っていく。また、発表の場も多くとりいれ、特に入野町にあるアルス・ノヴァさん主催の「スタタン」では審査委員賞をいただくことができた。

行事等については以下の通り。

- 4月 健康診断・歯科衛生士さんによる歯磨き指導
- 5月 奥浜名湖文化のつどい（湖北高校生とのファッションショーでの参加）
- 6月 ふれあい交流会・2町ボーリング大会
- 7月 トマト工房さん夏祭り（フラダンス） 日帰り旅行
引佐草の根作業所さん（フラダンス）
- 8月 えんしん映画会
- 9月 防災訓練・ふれあい交流レクリエーション大会
- 10月 元気ライブ・「スタ・タン」・障害者週間にてソラモにてダンス
- 11月 ほのぼのマーケット
- 12月 地区防災訓練・クリスマス会（三畳一間さん）・歯科健診・忘年会
- 1月 農協祭
- 2月 地区作品展
- 3月 風水害を想定した避難訓練

③健康維持のための取り組み

健康維持にむけては特に口腔ケアに力をいれた。歯科衛生士による口腔指導を受け、全員職員が仕上げをできるようになった。また、筋力の維持のため、ラジオ体操・ロコトレ体操・歩行にも力を入れ個々のペースに応じた歩行に努めた。

④地域との関わり等

神奈川県の障害者支援施設において多数の入所者が殺傷されるという痛ましい事件の発生を受け、地域に根ざした作業所を目指し施設における安全確保の見直しを行うと共に、地域での活動、地元の高齢者施設や障害者施設との交流、地域の小学校、その他フラダンス、表現活動を通して地域との交流を積極的におこなった。

3. 職員会議・研修

月1回の職員（ケア）会議を行った。

また、利用者の状態や支援のプログラムの質の向上のため、西部地区職員会議、施設長研修、実務研修、強度行動障害基礎研修・実践研修、上級救命講習、リンパ体操・健康体操の講習等の研修の機会も積極的に持った。